

令和5年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立別府支援学校

前年度評価結果の概要
・肢体不自由教育・病弱教育について、自立活動の充実を中心に取り組んだ。児童生徒の特性や困りについて、チェックリスト等をもとに実態を把握することを通じて自立活動のめあてが焦点化でき指導の充実にもつながった。次年度は自立活動と教科の関連について明確にして個別の指導計画を見直すことで、さらなる指導の充実を図りたい。支援状況を確認する支援構成表を作成し必要な支援を検討し学校と家庭以外の他機関との連携につなげやすくなった。複数の目で支援構成表を確認することで連携の強化につなげていきたい。
・防災教育を各教科の中で意識して位置づけていくことができた。来年度コロナ禍の状況が落ち着けばPTAとも連携した引き渡し訓練等を実施し、全体の防災意識を高めていく。
・業務改善について分掌主任を中心に引き継ぎシートの作成・見直しを行った。一人一改善を行うことで一人ひとりが改善の意識を高めることができた。次年度は改善の共有化を図る。

学校教育目標 中期目標 重点目標
児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、障がいによる学習上または生活上の困難を改善・克服するとともに、豊かな人間性を育み自立と社会参加できる児童生徒を育成する。
・児童生徒が自立や社会参加に向けて、自己の障がいの状態を改善・克服することができるよう、専門性の向上に取り組む。
・防災をはじめ、感染症や日常生活上の危険から児童生徒の生命を守り、児童生徒の安全教育の充実に取り組む。
・児童生徒と向かい合う時間を確保するための業務の工夫・改善に取り組む。
・肢体不自由教育、病弱教育の充実に向けた専門性の向上
・関係機関と連携した安心安全な学校づくり
・児童生徒と向き合う時間の確保のための3校で連携した働き方改革

Table with 8 columns: 重点目標, 達成(成果)指標, 重点的取組, 取組指標, PL SL, 自己評価結果 (評価, 分析・考察), 次年度の改善策, 学校関係者評価. Contains detailed evaluation data for various educational goals and strategies.

総合評価 次年度への展望等
・I課程は、自立活動の授業内容を整理し授業実践したことで、扱う内容が精選されてきた。特設の時間が学部ごとでかなり違うので、学校全体で見直す必要がある。
・II～IV課程は、各教科等を合わせた指導を教科に振り分けた「年間題材配列表」を作成したことで、扱いが少ない内容が明確となった。次年度は授業内容を検討し、「年間題材計画」の作成と教材研究を行い、「年間題材配列表」の妥当性を検証する。
・学部ごとの取組で避難経路や避難場所に、安全に避難できている。次年度は、全校での避難訓練を行い、避難経路や避難場所の妥当性を検証する。
・外部機関との繋がり・連携は、困りのある児童生徒を中心に進め、ケース会議等での情報共有を困りの解決につなげることができた。ただ、情報共有から進んでいない事例もあるので、次年度以降も継続した取組が必要である。
・3校連携した働き方改革は、一定の成果を得ることができた。まだできることがあると考えられるので、次年度以降も継続した取り組みをする必要がある。